

第3回桃山公園指定管理者候補者選定委員会 議事要旨

【会議名】

第3回桃山公園指定管理者候補者選定委員会

【開催日時】

令和3年12月7日（火）午後1時30分から午後3時30分まで

【開催場所】

吹田市役所南千里庁舎3階 会議室

【次第】

- 1 開会
- 2 議事
 - (1) 応募状況及び応募書類の要件審査結果についての報告
 - (2) 書類、プレゼンテーション及びヒアリング審査
 - (3) 答申
- 3 閉会

【配布資料】

- (資料1) 次第
- (資料2) 桃山公園指定管理者募集に対する申請書類の要件審査結果
- (資料3) 書類、プレゼンテーション及びヒアリング審査質問・回答票
- (資料4) 桃山公園指定管理者候補者選定 評価点数表
- (資料5) 桃山公園指定管理者候補者の選定結果について（公表イメージ）
- (資料6) 応募書類（副）1団体
- (資料7) 桃山公園魅力向上事業公募設置等指針及び桃山公園指定管理者募集要項
- (資料8) 桃山公園指定管理者候補者選定指針

【出席委員】 ※順不同、敬称略

- 委員 長：増田昇（LA まちづくり研究所 所長 / 大阪府立大学 名誉教授）
副委員 長：澤木昌典（大阪大学 大学院工学研究科 環境エネルギー工学専攻 都市環境
デザイン学領域 教授）
委 員：梶木典子（神戸女子大学 家政学部 教授）
委 員：上田萌子（大阪府立大学 大学院 生命環境科学研究科 助教）

委員：大内将弘（近畿税理士会吹田支部税務支援対策委員会 委員/大内会計事務所 税理士）

【欠席委員】

なし。

【会議の公開・非公開】

非公開（吹田市情報公開条例第7条第2号及び第4号に該当するため）

【傍聴者の数】

—

【発言の要旨】

1 開 会

事務局

定刻となりましたので、ただ今から、第3回桃山公園指定管理者候補者選定委員会を開催させていただきます。委員のみなさまには、7月13日の第2回会議におきまして、ご審議をいただき、誠にありがとうございました。

本日の会議では、「応募状況及び応募書類の要件審査結果についての報告」、「書類、プレゼンテーション及びヒアリング審査」を行い、指定管理者候補者を選定していただき、「答申」をいただきたく存じますので、よろしくお願いいたします。

なお、本日の会議は、過半数の委員のご出席により成立していることを報告いたします。それでは、委員長に会議の進行をお願いいたします。

2 議 事

（1）応募状況及び応募書類の要件審査結果についての報告

委員長

それでは、議事1「応募状況及び応募書類の要件審査結果についての報告」に入ります。事務局から報告してください。

事務局

【事務局から応募状況及び応募書類の要件審査結果についての報告】

委員長

ありがとうございます。応募状況としては、1者の応募があり、要件審査ではすべて適格ということよろしいですか。

ただ今の報告に関しまして、何か質問はありますか。

質問等ないということですので、次に進めていきたいと思っております。

書類、プレゼンテーション及びヒアリング審査は、何点以上で合格でしたか。

事務局

整備関係と管理関係ともに 100 点満点中 60 点以上です。

委員長

60 点で合格ですね。59 点で失格ですね。

次に書類、プレゼンテーション及びヒアリング審査の進行に関してですが、事務局にお任せしたらよろしいですか。プレゼンテーション及びヒアリング審査の流れを説明いただきたいと思います。

事務局

【事務局から書類、プレゼンテーション及びヒアリング審査についての説明】

委員長

何か質問はありますか。

委員

評価点は整数値でしますか。

事務局

整数値でお願いします。

委員

2 点満点のところも 1 点か 2 点ですか。6 割とっていたので。

委員長

0 もありですね。0 から整数値で出すということですね。

事務局

はい。

委員長

一度ワークシートの形で提出し、大幅に理解が違うところについては意見交換をして、もう一度提出をして最終評価をするということにしたいと思いますのでよろしくお願ひします。

次に、ヒアリングで質問すべき事項を事前に委員のみなさんから提出いただいて、回答結果を配布していますが、それについて質問はありますか。

これは基本的には再度ここで確認不要ということですか。それともこれについて質問してもよろしいですか。

事務局

プレゼンテーションが終わりましたら、わかりにくい点やあらためて聞きたい点があれば質問していただければと思います。

委員長

ヒアリング審査質問・回答票を参考にしながら質問していただければと思います。名札は出したままですか。

事務局

名札は伏せる予定となっています。

委員長

わかりました。

それでは、プレゼンテーション及びヒアリング審査に入りたいと思いますが、よろしいですか。

委員

質問です。評価点数表の「類似施設の管理の実績があるか」という項目の点数が記入済みですが、事務局で管理実績があると認めているということですね。

事務局

事務局で事前に判断できるところは記入しています。

委員

資料でわからないのは、6者でグループを構成していていずれかの企業の実績が記載されていますが、どこの企業の実績なのか対応関係がよくわからないことでして、そこについては確認していると考えていいわけですね。

吹田市内の会社は何をしているか書いていますが、中身がわからないところが2者ほどあるので。

事務局

提案書の4ページに業務の実施体制がありまして、事務局で確認したところB社が箕面公園の指定管理を請け負っていたということです。

委員

公共施設の管理実績に、公園も含まれますか。

事務局

含まれるので実績ありと判断しました。市内業者につきまして、A社、D社、E社が、市内の事業者だということを確認しています。

委員長

資料の評価点数表の実施体制の中で、「法人等の経営状況（財務基盤）が安定しているか」という項目がありますが、我々は専門家でなく、財務状況を見ても財務基盤というのがわからないので、これについては専門家の会計委員に意見をいただき、それを参考に採点したいと思います。

委員

1社ずつ確認しまして、直近1年でB社、E社については赤字というところで少し不安に感じますが、大元がしっかりしているのでグループ全体としては問題ないと思っています。

委員長

説明いただいた内容を参考に採点いただければと思います。

守る会の資料を確認しましたか。

他に質問はありませんか。よろしいですか。

それでは、審査を行います。あらかじめ応募書類を確認していますので、プレゼンテーション及びヒアリング審査を行います。進行は事務局をお願いします。

(2) 書類、プレゼンテーション及びヒアリング審査

事務局

応募者は入室してください。本日はよろしくをお願いします。

10分以内で機器の設置等を行っていただき、プレゼンテーションの準備が整いましたらお声掛けください。

それでは、事業計画について、15分以内でプレゼンテーションをお願いします。

【プレゼンテーション及びヒアリング審査】

委員長

委員のみなさんは、応募者の仮評価点を「評価点数表」に記入してください。

記入後、事務局は「評価点数表」をいったん回収し、この後の意見交換用の資料を作成してください。

意見交換用の資料が作成され次第、意見交換を行います。

事務局

【会議再開前に各委員に「評価点数表」を返却、「意見交換用シート」を配布】

委員長

会議を再開します。

事務局から配布された「意見交換用シート」をもとに、意見交換を行います。

この資料について、事務局から説明してください。

事務局

【事務局から「意見交換用シート」の説明】

委員長

それでは意見交換を行います。

まずは整備関係の点数を見ていただいてA委員が81点、B委員が69点、C委員が72点、D委員が64点、E委員が62点であり、今事務局から説明があったように足切りの60点未満はないということです。ちょっと81点と62点ですと20点ぐらいの差がありますが、いずれも合格で報告いただいています。

何か気になる点はありますか。整備関係について、特に自分の点と他の委員の点数と比較して少し変更するということはなくてよろしいですか。

委員

辛めかなとは思いましたが、全世代にという割には小・中・高校生の世代についての話がなかったので辛めに採点しました。公園なので幅広く高齢者と子ども世代、環境学習的な意味でも小・中・高校生世代あたり含めて考えていただきたいと思います。

委員

私は両方とも辛めに採点しました。提案書はきれいな言葉で書かれていて評価が高かったのですが、プレゼンテーションを聞いてみると具体的ところで経験が少ないのを感じました。

また、ソフト面では協議会に依存するような形であり、具体的なものがあまりよく見えなかったので辛めに採点しました。

委員

先ほど委員がされた発言が委員のみなさんの印象かなと思います。主に今日の質疑応答ではかなり構成グループでやりますとか、吹田グループでやりますとか、具体的な答えがなかなかありませんでした。

きっちりと募集要項に沿った形では提案されていますが、特にこういう思い入れを持ってという具体的な体制については弱いかなと感じました。60～70点の間ぐらいというのが正直な印象でした。

委員

これ見て管理関係を高めに採点したと思返しして、委員のみなさんが言うようにコンセプトで良いことを言っていますが、実際の提案はあいまいなところが多かったという印象を受けました。ただ、公園の反対の声っていうのを含めて自然環境を保護するという点はきちんとしていたので少し高めに採点しました。

委員

どうしても守る会のことがあるので、上の世代に気を使っているという印象を受けました。ただ、全世代となると、下の世代へのアピールが弱いなど正直思いました。

委員長

今の意見交換は講評に反映されると思います。続きまして、管理関係の意見交換を行います。

委員

安全対策のところでも辛めに採点しました。事前質問で健康遊具を子どもが使用した場合の安全性の確保について問い合わせましたが、回答は子どもが使用する際の注意事項等を記載した掲示物の設置を検討するというものであり、専用の言葉で書いたら子どもは読めませんし、ゾーンを分ける等の方法があったのではと思いました。応募者は、子どもはそれ以外の遊びで良いけど、高齢者にはこれが良いという考えでしたが、遊具については、高齢者も子どもと同様の考えで良いのではと思いました。割と事故が多いものなので、動かない健康遊具だけにする、簡易な遊具にするといった安全配慮があっても良いと思いました。

委員

いつも公園担当者に言うことですが、今日のプレゼンテーションでも説明のあった安全安心な公園について、屋外に一步出たら安全安心ということはないのですよね。いつスズメバチが飛んできて刺されるかもしれないし、転んで擦りむくかもしれない。

そういう経験が非常に重要でして、いろんな所で子育て層の方々とワークショップしていると参加した母親から転んですりむくような、そういう軽症で済むケガを積極的にさせたいという意見を聞きます。木の根っこでつまずいて転ぶとか、外で遊ぶ場合には必ず発生するわけですし、それを学習することで大きな事故から回避できる能力を習得できるからということですが、なかなか行政側でこの公園は安全でないですよとは言えないものです。本当は屋外で遊ぶ作法を最低限身に付けておくためにも学ぶ機会を与えたいのですね。あるいは、与えないといけないのですね。全部が全部ここに預けておいたら安全で安心ですよということはありません。保育器の中に入れていたら別ですが。余談ですが、いつも気になっています。

委員長

管理関係で他に意見はありますか。

委員

維持管理、池の水質管理の面で配慮されていたという点で高めの採点をしました。

委員

造園企業が入っているので造園管理はしてくれると思います。提案書はラクウショウの問題や生物多様性についても言っていましたが、どんな生物多様性を保全していくのか等、具体的なところが弱かったので少し辛めに採点しています。

委員が質問していたマネジメントの総括責任者等、本当に協議会の運営ができるのか。いろんなイベント、プログラムの企画ができる人がいるのかその点が非常に心配です。

委員

70点前後に採点した理由として、地元企業という視点で見ると、チーム吹田の中核になっているのが地元企業であり、地域の恩返しというか貢献というか、そういう意味においては、大阪の都心部から就活に来ていないという点で7割ぐらいの点数はつけられるのかなと思いました。

また、利用者の安全性等を考慮して公園区域外の駅前広場を公園エントランス部分と一体的に改修する点についても評価できるかなと思いました。

委員

地域貢献に意欲を持っている部分は評価できると思います。

委員

そうですね。かなり評価できます。

委員

住民の反対意見は考慮されていると思います。

委員

自主事業の中で自社製品を売るような気がして、地域貢献の裏側にはいろいろあると感じました。

委員長

後の事務処理について各項目も証拠として残さないといけないと思いますが、各項目は全部平均点で良いのですか。それとも採点の修正をしなければこのままの状態書類になりますか。

事務局

はい。

委員長

各項目の平均点を出さなくて良いということですね。

事務局

はい。

委員長

これで全員が 60 点以上ということで、意見交換をした中で少し低めのところと高めのところがありますが、みなさんの認識はこれでよろしいですか。これで確定ということでよろしいですか。

事務局

仮評価点の修正はされないということでよろしいですか。

委員長

3人が合格で2人は不合格ならかなり議論をしないといけませんが。全員が 60 点以上ですからあまりけんけんがくがくとした議論はしなくて済むのかなと思います。

基本的には今配布した意見交換用シートを打ち直していただき最終シートを準備いただいて、採点についての意見交換を終了するというところでよろしいですか。

(異議なし)

【講評】

委員長

それでは、事務局が作成している間に講評についての意見交換をしたいと思います。

良かった点、要望について意見をいただき原案を事務局で作成した後、委員長とやり取りをしてメールでみなさんの意見をいただいてとりまとめていくという段取りでよろしいですか。

(異議なし)

委員長

まず、整備関係について、いかがですか。評価できる点、それと今後の事業に向けてこういうところを少し改善してほしい等の要望はありますか。

委員

先ほど出ていた評価の視点でいくと、整備については居場所づくり、応募者はベンチ等の貸出を考えていましたが、貸出の事業を含めて少し居場所、滞留ということに配慮した内容にしていきたいと思います。

委員

貸出というのはベンチそのものを貸し出すということですよね。高齢者がベンチを持って移動するのはけっこう大変かと思います。

委員

椅子のイメージを持ちました。

委員

この頃、貸出は流行っていきまして、本と椅子を貸して木の下で読むパークライブラリーみたいなことを行っている事例もあります。

いずれにしても、もう少し滞留に配慮した整備について考える必要があります。

もう1点、竹材の利用について、高齢者への配慮は十分されていますが、子育て層も含めた竹材の利用への配慮についても、もう少し検討いただけたら良いのではと思います

また、生物多様性をうたっていますが、どのように配慮していくのかをもう少し具体的に検討する必要があります。

期待、評価できる点は、本公園の特性や、利用実態、課題を踏まえた、提案内容になっているところです。

収益性よりも地域貢献がかなり意識されている点もかなり評価できます。評価できる点というのはそのあたりかなと思いますが、他に意見はありますか。

委員

ラクウショウを切らない点や今はドライバーのたまり場となっている公衆トイレを下水管の負担があるのにあえて入り口付近に変えられる点については評価できます。

委員長

地元説明会で出されている要望も考慮しながら提案されています。場を活かすという形で配慮されていて、パークセンターやトイレが適切な位置に配置されています。

要望という視点でいうと、先ほどから3つほど出ましたが、他に意見はありますか。

委員

地元企業の強みを活かし地元の団体と連携することで市民協働の仕組みを作っていけたら公園で楽しむという機運が上がるのではないかと思います。

委員長

そのあたりは今後の期待というか要望ですね。

委員

顔の見える関係が築けるのでより一層そういうことを仕掛けていけたらより良い公園になると思います。

委員長

他に意見はありますか。

特にここの項目の中で特に厳しく採点されているところはよろしいですか。

委員

応募者は収益が上がってから還元するというようなことを言っていましたが、金銭的

な還元だけでなく、質疑応答の中で出ていた地元企業の特徴を活かしての還元についても期待します。

委員長

あとはいかがですか。

生物多様性みたいな視点について、考慮することは大前提という書き方でよろしいですか。

委員

生物多様性については事前質問した際にあまり具体的な方針がなかったのであえてヒアリングで質問しませんでした。この公園の特徴としては水鳥や竹林というのが貴重な自然の要素としてあると思うので特にそういったことについて市民のボランティアと一緒に育成を続けていただきたいと思います。

委員長

広大な水面を活かしてというような表現で要望するということですね。

委員

先ほどの子どもの遊びに関連してせっかくパークセンターができるので禁止事項だらけの公園にするのではなく、できることを模索していただきたい。パークセンターに人がいるからこそできることがあると思います。それはなかなか難しいことですか。

事務局

いえいえ。

委員

この前の土曜日に公園利用についての勉強会に出席しましたが、いろんな工夫をされて住民に寄り添いながら公園管理をしていく、こんなこともできますよ、あんなこともできますよというような看板を掲げている自治体もあります。面白いのは公園の利用時間は午後9時40分までと掲げている点ですね。片付けには20分かかり周辺住民にとっては午後10時ぐらいから静寂が欲しいという理由から、利用できるのは午後9時40分までという看板を出している公園があります。

事務局

桃山公園は看板公園と言われていて、行っていただいたらわかりますが、看板、看板で。これをやめてくれと言われたらそれを看板に書いて設置。一時苦情があつて、最後は看板を設置しないでくださいという看板が設置されました。それだけ住民の要望が強いということです。

委員長

それぐらいでいかがですか、それも含めて少し講評イメージを説明していただけますか。

事務局

【事務局から講評についての説明】

(3) 答申

委員長

また、選定が終わったので応募者のグループ名を教えてくださいが良いかと思いますが、いかがですか。

事務局

グリーンホスピタルサプライというグループです。代表団体の A 社がグリーンホスピタルサプライ株式会社です。

委員長

特定目的会社ですか。

事務局

特定目的会社ではありません。

以下、構成団体になりますけれども、B 社が日本パナユーズ株式会社、C 社がシップヘルスケアフード株式会社、A～C 社までがグループ企業となっています。D 社が川西造園株式会社、E 社が株式会社堀田工務店、F 社がパラカ株式会社、以上 6 社により構成されているグループです。

委員長

今、事務局が説明していただいたようにこの 1 ページ目が公表されますが、2 ページ目の選定委員会委員、それと最後の提案内容の講評あたりが少し後になるという理解でよろしいですか。

事務局

講評は最初の段階に合わせて公表します。後から公表するのは委員名簿と議事要旨を考えていまして、あとはだいたいこのフォーマットで公表します。

委員長

選定結果の 1 位と順位付けた委員数というのは何か質問はありますか。よろしいですか。時間の余裕があるということですがけれども、講評に関しましては今、意見交換させていただいたものを事務局でとりまとめて、委員長と調整した後、各委員の了解を得てという形にしたいと思います。

本選定委員会は、「グリーンホスピタルサプライ」を桃山公園指定管理者候補者に選定します。

以上をもって、本選定委員会の答申とします。委員のみなさま、ご審議ありがとうございました。

閉会にあたり、今後の流れなど、事務局から説明してください。

3 閉会

事務局

【事務局より今後の流れの説明】

閉会にあたり、委員会の事務局を代表しまして、土木部長の船木からお礼を申し上げさせていただきます。

【土木部長あいさつ】

事務局

会議はこれで終了します。ありがとうございました。